

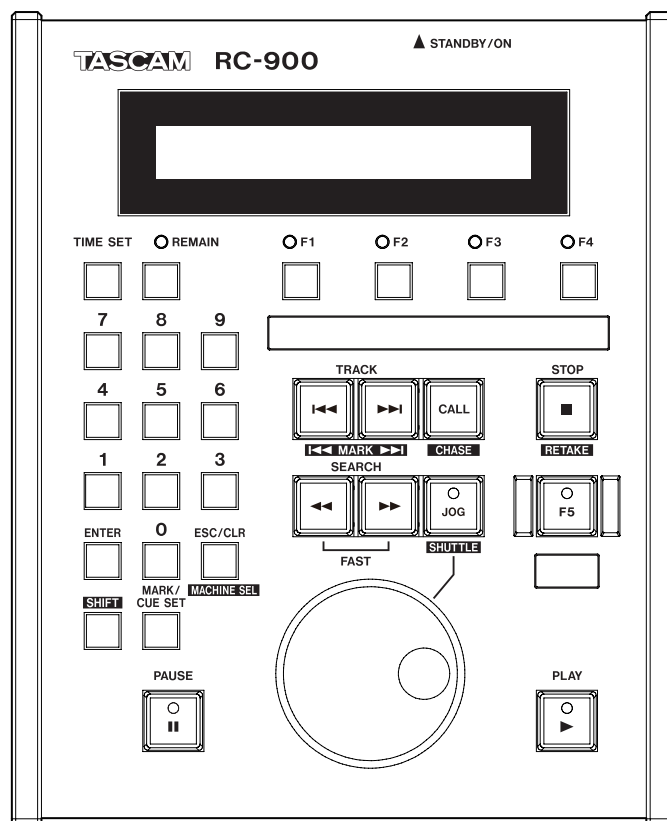
# TASCAM

D01176601C

# RC-900







## Remote Control Unit

取扱説明書



# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p><b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p><b>万一、異常が起きたら</b>            煙が出たり、変なおいや音がするときは  <b>機器の内部に異物や水などが入ったときは</b>  <b>この機器を落としたり、カバーを破損したときは</b>            すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。            販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>ACアダプターのコードを傷つけない</b>  <b>ACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない</b>  <b>ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない</b>            コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。            万一、ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）をご依頼ください。</p> <p><b>付属のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない</b>            故障、火災、感電の原因となります。</p> <p><b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない</b>            この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p><b>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない</b>            火災・感電の原因となります。</p>
 <p>指示</p>	<p><b>ACアダプターの電源プラグにほこりをためない</b>            ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的（年1回くらい）にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない</b>            内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p><b>この機器のカバーは絶対に外さない</b>            カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。            内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p> <p><b>この機器を改造しない</b>            火災・感電の原因となります。</p>



## 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く

移動させる場合は、電源をスタンバイにし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す

コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く

通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。



指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する

また、接続は指定のコードを使用する

この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする  
異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。

この機器には、付属の専用ACアダプターや電源コードを使用する

それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない

火災・感電やけがの原因となる場合があります。

ACアダプターの電源プラグを抜くときは、ACアダプターの電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となる場合があります。



注意

5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。

内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

# 目次

安全にお使いいただくために .....	2	フェールセーフ機能の設定 .....	20
<b>第1章 はじめに.....</b>	<b>5</b>	<b>第6章 仕様.....</b>	<b>21</b>
本機の概要 .....	5	一般.....	21
本機の構成 .....	5	寸法図.....	21
本書の表記 .....	5		
商標に関して .....	5		
設置上の注意 .....	5		
結露について .....	5		
製品のお手入れ .....	6		
アフターサービス.....	6		
<b>第2章 各部の名称と働き .....</b>	<b>7</b>		
トップパネル .....	7		
リアパネル .....	11		
ディスプレイ .....	11		
<b>第3章 準備 .....</b>	<b>12</b>		
接続する .....	12		
CD-9010CF / CD-9010と接続する場合 .....	12		
その他の機器と接続する場合 .....	12		
電源の準備 .....	12		
電源をオンにする.....	12		
接続機器を選択する.....	13		
接続機器別ファンクションボタン設定表.....	13		
本体機器側の通信設定を行う .....	14		
CD-9010CF / CD-9010の場合.....	14		
CD-6010の場合.....	14		
HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合 .....	14		
SS-CDR200 / SS-R200の場合 .....	14		
ディスプレイとインジケータを調節する .....	15		
ディスプレイのコントラスト調節 .....	15		
ディスプレイの輝度調節.....	15		
インジケータの輝度調節.....	15		
<b>第4章 操作する.....</b>	<b>16</b>		
オンライン再生モードの切り換え.....	16		
再生モードを設定する.....	16		
再生する場所を選ぶ.....	16		
トラック（テイク）を選ぶ.....	16		
曲の途中をサーチする.....	17		
キューポイント再生.....	17		
キューポイントを追加する .....	17		
キューポイントから再生する .....	17		
キューポイントを削除する .....	17		
リピート再生 .....	18		
マーク機能.....	18		
マークポイントを付ける .....	18		
マークポイントへのロケート .....	18		
録音する.....	18		
トラック（テイク）の編集.....	18		
トラック（テイク）を分割する .....	18		
トラック（テイク）を削除する .....	19		
トラックの終わりの部分を確認する.....	19		
実際の使用方法 .....	19		
<b>第5章 その他の設定など .....</b>	<b>20</b>		
本機の情報を見る.....	20		
稼動時間を確認する.....	20		
出荷時の設定に戻す .....	20		

このたびは、TASCAM Remote Control Unit RC-900をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機は、TASCAM Recorder、CDプレーヤーなど複数機器に対応するユニバーサル・リモートコントロール・ユニットです。

接続対象機器は、CD-9010CF / CD-9010、CD-6010、HS-2 / HS-2000 / HS-4000、SS-CDR200 / SS-R200です。

本機を対象機器に接続することにより、使い勝手が一段と向上します。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

## 本機の概要

- 数字ボタン (0~9ボタン) を使ったトラック (テイク) 選択 / タイムサーチ機能
- JOGダイヤルを用いたサーチ機能
- 接続する本体機器と同等のトランスポート操作が可能
- ファンクションボタン (F1~F5ボタン) を装備して機種により最適な機能をアサイン
- ガード付自照式ボタンのファンクションボタン (F5ボタン) は、ONLINE、RECORDといった特別な機能をアサイン
- 4ポイントまでCUEポイントの設定が可能 (接続する本体機器がCD-9010CF / CD-9010、CD-6010の場合のみ)

## 本機の構成

本機の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

● 本体	x1
● RS-232C接続ケーブル (5m)	x1
● ACアダプター (TASCAM PS-P520)	x1
● ACアダプター用電源コードセット	x1
● RS-232C変換コネクター	x1
● 保証書	x1
● 取扱説明書 (本書)	x1

### 注意

本機には、必ず付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520) とACアダプター用電源コードをご使用ください。また、付属のACアダプターとACアダプター用電源コードを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

### メモ

RS-232C変換コネクターは、パソコンを用いて本機のファームウェアのアップデートを行う際に使用します。

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン / 端子などを「TIME SETボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“ON”のように“ ”で括って表記します。接続対象機器本体のディスプレイに表示される場合も同様です。
- 「CD-DA」形式のことを「オーディオCD」形式と表記する場合があります。
- MP3オーディオファイルやWAVオーディオファイルを記録したCDを「データCD」と表記します。
- 接続対象の本体機器がサポートするメディアの種類については、本体機器の取扱説明書を参照ください。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

### 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

## 商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## 設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度~35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。故障の原因となります。

振動の多い場所  
窓際などの直射日光が当たる場所  
暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所  
極端に温度が低い場所  
湿気の多い場所や風通しが悪い場所  
ほこりの多い場所

- 本機は、水平に設置してください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

## 結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1~2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

---

### 製品のお手入れ

---

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

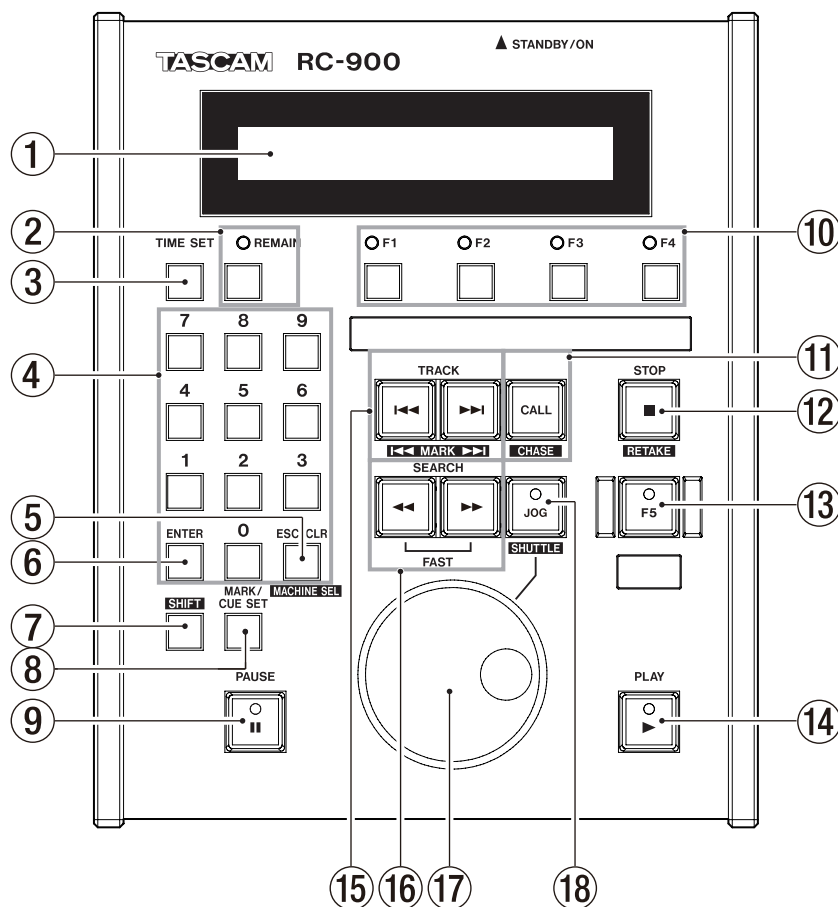
---

### アフターサービス

---

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。  
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番 (RC-900)
  - 製造番号 (Serial No.)
  - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

### トップパネル



#### ① ディスプレー

トラック（テイク）番号、時間表示、状態表示、設定選択、実行確認などを表示します。

#### ② REMAINボタン／インジケーター

本機のディスプレイの時間表示をトラック（テイク）経過時間およびトラック（テイク）残量時間の交互に切り換えることができます。

表示切り換えは、本機のみが切り換わり、接続機器本体の時間表示と独立して切り換えることができます。

残量時間表示中は、インジケーターが点灯します。

**HS-2 / HS-2000 / HS-4000、SS-CDR200 / SS-R200の場合**

録音中の残量時間表示時は、メディア全体の残り録音可能時間を表示します。

#### メモ

- HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合は、タイムラインモードのときにトラック残量時間表示ができません。REMAINボタンが無効になります。
- CD-6010の場合は、データCD再生時にトラック残量時間表示ができません。REMAINボタンが無効になります。

#### ③ TIME SETボタン

再生モードが連続再生モードまたはシングル再生モードのときにこのボタンを押すと、トラック（テイク）時間表示部が時間入力表示になります。

数字ボタン（0～9ボタン）を使って時間を入力します。

#### ④ 数字ボタン（0～9ボタン）

再生モードが連続再生モードおよびシングル再生モードのとき、トラック（テイク）を選択するときに使います。

TIME SETボタンを押すと時間入力表示になり、その後に時間を選択するときに使います。

#### メモ

HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合は、タイムラインモードのときにトラック（テイク）の選択はできません。

### ⑤ ESC/CLR [MACHINE SEL] ボタン

トラック（テイク）／時間／キューポイントの選択をクリアするときに使います。

実行確認のキャンセル時にも使います。

停止中に**SHIFT**ボタンを押しながらこのボタンを押すと、接続機器の選択（マシンセレクト）を行うことができます。（→ 13ページ「接続機器を選択する」）

接続機器の選択（マシンセレクト）の選択のキャンセル時にも使用します。

このボタンを押しながら**JOG**ダイヤルを回すと、ディスプレイの輝度が調節できます。

#### CD-9010CF / CD-9010、CD-6010の場合

このボタンを押しながらキューポイントの登録されたファンクションボタン（**F1**～**F4**ボタン）を押すと、登録されたキューポイントが削除されます。（→ 17ページ「キューポイント削除する」）

#### メモ

本機から輝度調節できるのは、本機のディスプレイのみです。接続する本体機器の輝度調節はできません。

### ⑥ ENTERボタン

実行確認の確定時に使います。

接続機器の選択（マシンセレクト）の確定時にも使用します。

このボタンを押しながら**JOG**ダイヤルを回すと、本機の**REMAIN**インジケータ、ファンクションインジケータ（**F1**～**F4**）、ファンクションボタン（**F5**ボタン）、**PAUSE**ボタン、**PLAY**ボタン、**JOG**ボタンの輝度が調節できます。

#### メモ

本機から輝度調節できるのは、本機のインジケータのみです。接続する本体機器の輝度調節はできません。

### ⑦ SHIFTボタン

停止中にこのボタンを押しながら**ESC/CLR [MACHINE SEL]**ボタンを押すと、接続機器の選択（マシンセレクト）を行うことができます。（→ 13ページ「接続機器を選択する」）

このボタンを押しながら**JOG**ダイヤルを回すと、本機のディスプレイのコントラストが調節できます。

#### HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合

- このボタンを押しながら**TRACK** ◀◀ボタンを押すと、1つ手前のマークポイントに移動し、停止／再生待機、または再生を開始します。
- このボタンを押しながら**TRACK** ▶▶ボタンを押すと、1つ先のマークポイントに移動し、停止／再生待機、または再生を開始します。
- このボタンを押しながら**JOG [SHUTTLE]** ボタンを押すと、シャトル動作モードになります。
- このボタンを押しながら**STOP [RETAKE]** ボタンを押すと、リテイク（最後に録音したテイクを削除する）を実行します。
- このボタンを押しながら**CALL [CHASE]** ボタンを押すと、タイムコード同期運転のオン／オフが設定できます。

#### CD-9010CF/CD-9010の場合

このボタンを押しながら**TRACK** ▶▶ボタンを押すと、“**PLAY**”メニュー画面の“**END CHECK**”項目で設定した設定時間分、トラックの終わりの部分を確認することができます。（→ 19ページ「トラックの終わりの部分を確認する」）

#### メモ

本機からコントラスト調節できるのは、本機のディスプレイのみです。

接続する本体機器のコントラスト調節はできません。

### ⑧ MARK/CUE SETボタン

マークポイント、キューポイントの登録を行います。

#### CD-9010CF / CD-9010、CD-6010の場合

停止中、再生待機中および再生中にこのボタンを押すと、キューポイントを登録します。

このとき、“**CUE SET**”とそのとき追加したキューポイント番号をポップアップ表示します。

キューポイントを追加するごとに、ファンクションボタン（**F1**～**F4**ボタン）上のインジケータが点灯します。

本機で登録できるキューポイント番号は、No.1～No.4です。それぞれファンクションボタン（**F1**～**F4**ボタン）に対応します。

このボタンを押しながらファンクションボタン（**F1**～**F4**ボタン）を押すと、その場所にキューポイントが登録されます。（→ 17ページ「キューポイントを追加する」）

#### HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合

このボタンを押すと、現在ロケートしている時刻にマークポイントを付けます。（→ 18ページ「マークポイントを付ける」）

### ⑨ PAUSEボタン／インジケータ

#### CD-9010CF / CD-9010の場合

**STANDBY**ボタンと同等の機能です。

停止中またはジョグ再生中の状態からこのボタンを押すと、その位置で再生待機状態になります。

モニター再生中にこのボタンを押すと、“**PLAY**”メニューの“**MONITOR PLAY STBY**”項目の設定が“**BACK CUE**”の場合は、ラストキューポイント（最後にモニター再生を開始した位置）の位置へロケートして再生待機状態になります。“**NORMAL**”の場合は、その位置で再生待機状態になります。オンライン再生中にこのボタンを押すと、再生モードにより動作が異なります。

再生モード	状態
CONTINUE	“ <b>PLAY</b> ”メニューの“ <b>ONLINE PLAY STBY</b> ”項目が“ <b>NORMAL</b> ”の場合は、その位置で再生待機状態になります。
SINGLE	“ <b>BACK CUE</b> ”の場合は、ラストキューポイントの位置へロケートして再生待機状態になります。
PROGRAM	“ <b>PLAY</b> ”メニューの“ <b>ONLINE PLAY STBY</b> ”項目が“ <b>NORMAL</b> ”の場合は、次のトラック（テイク）の先頭位置で再生待機状態になります。“ <b>BACK CUE</b> ”の場合は、ラストキューポイントの位置へロケートして再生待機状態になります。

再生待機中は、このボタンが点灯します。



**CD-6010の場合**

停止中または再生中に押すと、再生待機状態になります。  
再生待機中は、このボタンが点灯します。

**HS-2 / HS-2000 / HS-4000、SS-CDR200 / SS-R200の場合**

停止中または再生中に押すと、再生待機状態になります。  
録音中に押すと、録音待機状態になります。  
再生待機中や録音待機中は、このボタンが点灯します。

**SS-CDR200 / SS-R200 の場合**

READYボタンと同等の機能です。

**⑩ ファンクションボタン／インジケーター (F1～F4)**

接続機器の選択（マシンセレクト）により、各ボタンアサインされる機能が変わります。（→ 13ページ「接続機器を選択する」）

**⑪ CALL [CHASE] ボタン**

**CD-9010CF / CD-9010の場合**

このボタンを押すと、ラストキューポイント（最後に自動登録されたキューポイント）へロケートし、再生待機状態になります。

**CD-6010、HS-2 / HS-2000 / HS-400、SS-CDR200 / SS-R200の場合**

最後に再生待機状態から再生を開始したポイント（コールポイント）にロケートし、再生待機状態となります。

**HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合**

SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、タイムコード同期運転のオン／オフが設定できます。

**メモ**

**キューポイントの自動登録について**

（CD-9010CF / CD-9010の場合のみ）

停止状態位置または再生待機状態位置からモニター再生を開始した位置がキューポイントとして自動登録されます。また、ジョグモードからPAUSEボタンを押した場合も、その位置がキューポイントとして登録されます。

**⑫ STOP [RETAKE] ボタン**

**CD-9010CF / CD-9010、CD-6010の場合**

再生を停止します。

**HS-2 / HS-2000 / HS-4000、SS-CDR200 / SS-R200の場合**

録音や再生を停止します。

**HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合**

SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、リテイク（最後に録音したテイクを削除する）を実行します。

**⑬ ファンクションボタン／インジケーター (F5)**

接続機器の選択（マシンセレクト）により、このボタンにアサインされる機能が変わります。（→ 13ページ「接続機器を選択する」）

**⑭ PLAYボタン／インジケーター**

**CD-9010CF / CD-9010、CD-6010の場合**

停止／再生待機中にこのボタンを押すと再生を開始し、このボタンが点灯します。

**HS-2 / HS-2000 / HS-4000、SS-CDR200 / SS-R200の場合**

停止中または再生待機中に押すと、再生を開始します。  
録音待機中に押すと、録音を開始します。  
再生中や録音中、このボタンが点灯します。

**CD-9010CF / CD-9010においてマシンセレクト "1 : CD-9010 [A]"、HS-2000 / HS-4000においてマシンセレクト "4:HS [B] (ONLINE) " の場合**

ファンクションボタン (F5ボタン) が点灯している（オンライン再生モードのオン）場合には、接続する本体機器のLINE OUTPUTS端子およびDIGITAL OUTPUT端子から出力され、オンライン再生の状態になります。

CD-9010CF / CD-9010の場合は、再生待機中／モニター再生中／ジョグ再生中の状態からのみオンライン再生状態になります。

ファンクションボタン (F5ボタン) が消灯している（オンライン再生モードのオフ）場合には、接続する本体機器のMONITOR OUTPUTS端子およびPHONES端子から出力されます。

**CD-9010CF / CD-9010においてマシンセレクト "6 : CD-9010 [B]" の場合**

このボタンを押すと、モニター再生が始まります。  
接続する本体機器のMONITOR OUTPUTS端子およびPHONES端子から出力され、このボタンが点灯します。

**⑮ TRACK ◀◀ / ▶▶ [MARK ◀◀ / ▶▶] ボタン**

トラック（テイク）サーチを行います。

**HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合**

SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、マークポイントに移動します。移動後は、前の状態（停止、再生待機、または再生）になります。（→ 18ページ「マークポイントへのロケート」）

**CD-9010CF/CD-9010の場合**

SHIFTボタンを押しながらTRACK ▶▶ボタンを押すと、“PLAY”メニュー画面の“END CHECK”項目で設定した設定時間分、トラックの終わりの部分を確認することができます。（→ 19ページ「トラックの終わりの部分を確認する」）

**⑯ SEARCH ◀◀ / ▶▶ [FAST] ボタン**

このボタンを押している間、サーチを行います。

SEARCH ▶▶ ボタン (SEARCH ◀◀ ボタン) を押して、キューサーチ動作中にもう一方のSEARCH ◀◀ ボタン (SEARCH ▶▶ ボタン) を押すと、サーチ速度が速くなります。

**メモ**

- SS-CDR200 / SS-R200の場合は、このサーチが速くなる動作は行いません。
- CD-6010の場合は、データCD再生時にSEARCH ◀◀ / ▶▶ [FAST] ボタンが無効になります。

### ⑰ JOGダイヤル

JOGダイヤルを用いたサーチ動作を行います。

ENTERボタンを押しながらこのダイヤルを回すと、本機のREMAINインジケータ、ファンクションインジケータ、ファンクションボタン（F5ボタン）、PAUSEボタン、PLAYボタン、JOG [SHUTTLE] ボタンの輝度が調節できます。

SHIFTボタンを押しながらこのダイヤルを回すと、本機のディスプレイのコントラストが調節できます。

ESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押しながらこのダイヤルを回すと、本機のディスプレイの輝度が調節できます。接続機器の選択（マシンセレクト）時にも使用します。

#### CD-9010CF / CD-9010、CD-6010、SS-CDR200 / SS-R200の場合

ジョグモード動作中にJOGダイヤルを右回りに回すと、順方向にフレーム再生位置が移動していきます。

ジョグモード動作中にJOGダイヤルを左回りに回すと、逆方向にフレーム再生位置が移動していきます。

#### HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合

ジョグ動作モード時は、回した量に応じて再生速度が変化しジョグ再生位置を移動します。

シャトル動作モード時は、回した角度に応じた速度でシャトル再生します。

シャトル動作モードにしたとき、元の位置に戻すとシャトル再生開始前の状態になります。

#### メモ

本機からコントラストおよび輝度調節できるのは、本機のディスプレイのみです。

接続する本体機器のコントラスト、輝度調節はできません。

### ⑱ JOG [SHUTTLE] ボタン／インジケータ

#### CD-9010CF / CD-9010、CD-6010、SS-CDR200 / SS-R200の場合

JOGダイヤルを使用して、1フレーム単位のモニター再生をすることができます。

このボタンを押すと、フレーム単位のモニター再生がはじまり、JOGダイヤルが有効になります。

ジョグモード中は、このボタンが点灯します。

ジョグモード中にJOG [SHUTTLE] ボタンを押すと、再生待機状態になります。

#### HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合

このボタンを押すとジョグ動作モードになり、JOGダイヤルはJOGダイヤルとして機能します。また、このときJOG [SHUTTLE] インジケータが点灯します。

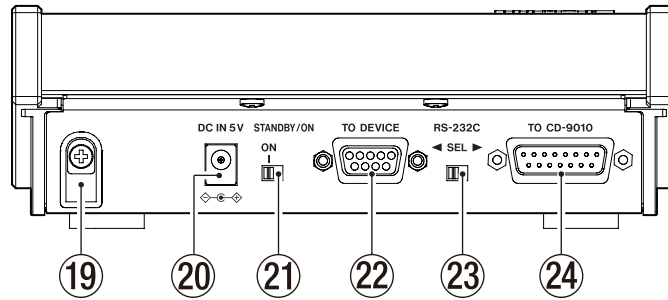
SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すとシャトル動作モードになり、JOGダイヤルはシャトルダイヤルとして機能します。また、このときJOG [SHUTTLE] インジケータが点滅します。

再度このボタンを押すと、それぞれのモードから抜けます。

#### メモ

- オンライン再生中は、JOG [SHUTTLE] ボタンが無効になります。(CD-9010CF / CD-9010の場合)
- CD-6010の場合は、データCD再生時にJOG [SHUTTLE] ボタンが無効になります。
- 本機でJOGダイヤル、シャトル操作を行う場合は、本機のJOG [SHUTTLE] ボタンを操作して動作モードをオンにしてください。接続する本体機器の操作でジョグモードおよびシャトル動作モードをオンすることができる機器もありますが、接続する本体機器側でジョグモードおよびシャトル動作モードをオンにした場合、本機のジョグモードおよびシャトル動作モードがオンにならない場合があります。

## リアパネル



### ⑱ コードホルダー

付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）のコードを引っ掛けてプラグの抜け落ちを防止します。

### ⑳ DC IN 5V端子

付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）を接続します。

### ㉑ STANDBY/ONスイッチ

スイッチをONにすると電源がオンになり、反対側にすると電源がオフになります。

### ㉒ TO DEVICE端子

付属のRS-232C接続ケーブルでCD-9010CF / CD-9010以外の機器と接続する際に使用します。

使用する前に、RS-232C SELスイッチを「◀」側にセットしてください。

#### 注意

接続ケーブルの抜き差しは、本機および接続機器本体の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま抜き差しをすると、故障の原因となります。

### ㉓ RS-232C SELスイッチ

接続機器を接続するコネクタを選択します。

スイッチを「◀」側にするとTO DEVICE端子が有効になります。スイッチを「▶」側にするとTO CD-9010端子が有効になります。

### ㉔ TO CD-9010端子

CD-9010CF / CD-9010本体と接続する際に使用します。

使用する前に、RS-232C SELスイッチを「▶」側にセットしてください。

接続には、別途接続ケーブルが必要です。

#### 注意

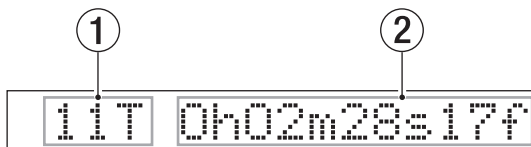
接続ケーブルの抜き差しは、本機およびCD-9010CF / CD-9010本体の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま抜き差しをすると、故障の原因となります。

## ディスプレイ

本機のディスプレイには、以下の情報が表示されます。



[オーディオCDモード表示]



[データCD・CF / SD / USBモード表示]

### ① トラック（テイク）番号表示

トラック（テイク）番号を表示します。

### ② トラック（テイク）時間表示

現在のトラック（テイク）の時間を表示します。

再生するメディアによって、表示内容が異なります。ただし、HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合は、CF / SD / USBモード表示のみです。

再生メディア	表示内容
オーディオCD	分、秒、フレーム表示
データCD	時、分、秒、フレーム表示
CFカード	
SDカード	
USBメモリー	

REMAINボタンを押すたびに、経過時間表示と残量時間表示と交互に切り換わります。

残量時間表示は、REMAINインジケーターが点灯します。

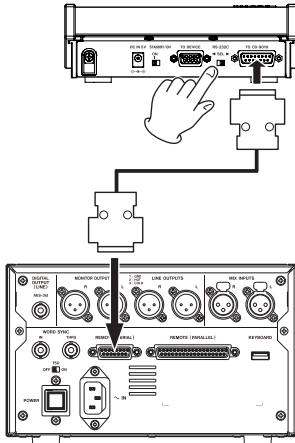
## 第3章 準備

### 接続する

本機を使用するにあたり、下記のように接続する本体機器と接続します。

#### CD-9010CF / CD-9010と接続する場合

本機のリアパネルの**TO CD-9010**端子とCD-9010CF / CD-9010本体の**REMOTE (SERIAL)** 端子を接続ケーブルで接続します。また、**RS-232C SEL**スイッチを「▶」側にセットしてください。

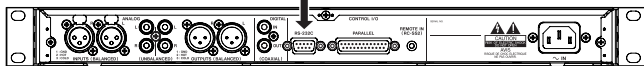
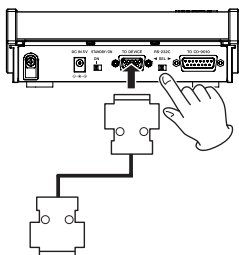


#### 注意

接続ケーブルの抜き差しは、CD-9010CF / CD-9010本体の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま抜き差しをすると、故障の原因となります。

#### その他の機器と接続する場合

本機のリアパネルの**TO DEVICE**端子と接続対象機器のRS-232C端子を付属のケーブルで接続します。また、**RS-232C SEL**スイッチを「◀」側にセットしてください。



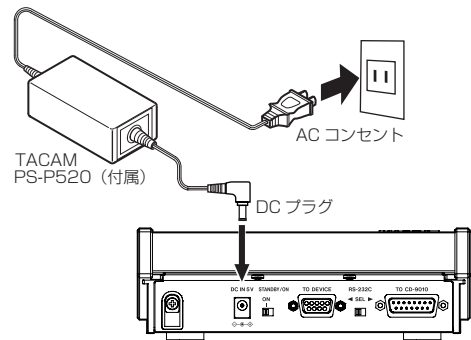
[SS-CDR200 / SS-R200を接続した場合]

#### 注意

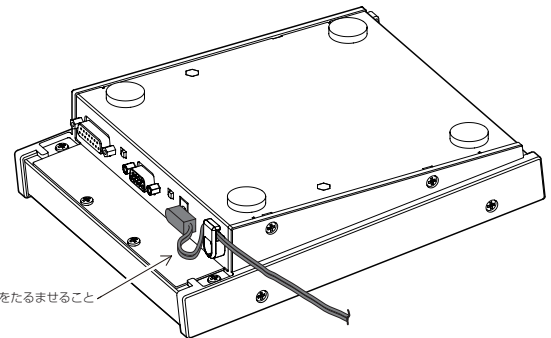
接続ケーブルの抜き差しは、接続対象機器本体の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま抜き差しをすると、故障の原因となります。

### 電源の準備

図のように、付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）を**DC IN 5V**端子に接続します。



リアパネルには、ACアダプターのコードを固定するためのコードホルダーがあります。使用中のコード抜けを防ぐため、接続するときはコードホルダーにコードを通してください。



#### 注意

- 必ず付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）とACアダプター用電源コードを接続してください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。
- 本機への電源供給は、専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）からとなります。接続ケーブル経由では、接続対象機器本体から電源を供給することはできません。

### 電源をオンにする

リアパネルの**STANDBY/ON**スイッチを**ON**側にします。

## 接続機器を選択する

停止中にSHIFTボタンを押しながらESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押すと、接続機器の選択（マシンセレクト）を行うことができます。

1. 停止中に本機のSHIFTボタンを押しながらESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押します。
2. 現在設定されている接続機器が、以下のように本機のディスプレイに表示されます。

本機ディスプレイ表示	接続対象機器
1 : CD-9010 [A]	CD-9010CF / CD-9010
2 : CD-6010	CD-6010
3 : HS [A](REC)	HS-2 / HS-2000 / HS-4000
4 : HS [B](ONLINE)	HS-2 / HS-2000 / HS-4000
5 : SS-CDR200/R200	SS-CDR200 / SS-R200
6 : CD-9010 [B] *	CD-9010CF / CD-9010

\* この設定の場合は、CD-9010CF / CD-9010の“SYSTEM”メニュー画面の“ONLINE FUNCTION”項目の設定が自動的に“AlwaysON”に設定されます。また、PLAYボタンは、モニター再生になります。

3. 本機のJOGダイヤルを回して、設定を選択します。また、該当する番号の数字ボタンを押すことにより選択することもできます。

4. 本機のENTERボタンを押すと、選択した設定が確定されます。本機のESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押すと選択がキャンセルされ、2.の現在の設定のまま変更されません。

### 注意

接続機器と異なる設定を行うと正常に動作しません。

### メモ

- 設定によりファンクションボタン（F1～F5ボタン）にアサインされる機能が異なります。（→ 13ページ「接続機器別ファンクションボタン設定表」）
- 設定は、本機の電源をオフにしても保持されます。

## 接続機器別ファンクションボタン設定表

本機ディスプレイ表示	ファンクションボタン				
	F1	F2	F3	F4	F5
1 : CD-9010 [A]	CUE No.1 *1	CUE No.2 *1	CUE No.3 *1	CUE No.4 *1	ONLINE *2
2 : CD-6010	CUE No.1 *1	CUE No.2 *1	CUE No.3 *1	CUE No.4 *1	設定無し
3 : HS [A](REC)	Repeat *3	PlayMode *4	Divide *5	Delete *6	REC *7
4 : HS [B](ONLINE)	Repeat *3	PlayMode *4	Divide *5	Delete *6	ONLINE *2 (HS-2は設定無し)
5 : SS-CDR200/R200	Repeat *3	PlayMode *4	Divide *5	Delete *6	REC *7
6 : CD-9010 [B]	CUE No.1 *1	CUE No.2 *1	CUE No.3 *1	CUE No.4 *1	オンライン再生

\*1 : 17ページ「キューポイント再生」を参照ください。

\*2 : 16ページ「オンライン再生モードの切り換え」を参照ください。

\*3 : 18ページ「リピート再生」を参照ください。

\*4 : 16ページ「再生モードを設定する」を参照ください。

\*5 : 18ページ「トラック（テイク）を分割する」を参照ください。

\*6 : 19ページ「トラック（テイク）を削除する」を参照ください。

\*7 : 18ページ「録音する」を参照ください。

### 本体機器側の通信設定を行う

本機を使用するにあたり、下記のように接続する本体機器側の通信設定を行う必要があります。

#### メモ

通信設定は、接続する本体機器の電源をオフにしても保持されます。

#### CD-9010CF / CD-9010の場合

1. CD-9010CF / CD-9010のMENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. “REMOTE” メニュー画面を表示します。
3. “SERIAL BAUD RATE” 項目を選択（反転表示）します。
4. CD-9010CF / CD-9010のDATAダイヤルを押してカーソルが右側に移動し、設定項目を選択（反転表示）状態にします。
5. CD-9010CF / CD-9010のDATAダイヤルを回して、“RC”に設定します。
6. 設定が終了したら、CD-9010CF / CD-9010のHOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。

#### CD-6010の場合

1. CD-6010のディスプレイが通常表示のとき、CD-6010のMENUボタンを押します。  
CD-6010のディスプレイ中央部の表示がメニュー項目選択表示になります。前回最後に選択したメニュー項目が最初に表示されます。
2. メニュー項目 “13 232C” を選択します。  
CD-6010のTRACK SKIP/DATAつまみを回し、TRACK SKIP/DATAつまみを押して確定します。
3. 設定値を “384” を選びます。  
CD-6010のTRACK SKIP/DATAつまみを回して選択し、TRACK SKIP/DATAつまみを押して設定を確定します。
4. メニュー項目選択の状態ではCD-6010のMENUボタンを押して、メニューモードを終了します。

#### HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合

1. HS-2 / HS-2000 / HS-4000のMENUキーを押し、“MENU”画面を表示します。
2. “REMOTE SETUP” ボタンを押し、“REMOTE SETUP”画面を表示します。
3. 画面下のタブで “RS232C” タブ画面を選択します。
4. 画面上の各設定ボタンで下記の設定を選択します。

Serial Mode	: “RS-232C”
Baud Rate (bps)	: “38400” bps
DATA Length	: “8” ビット
Parity Bit	: “NONE”
Stop Bit	: “1” ビット
5. HS-2 / HS-2000 / HS-4000のHOMEキーを押し、“HOME”画面を表示します。

#### SS-CDR200 / SS-R200の場合

1. SS-CDR200 / SS-R200のMENU [JOG] ボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. “UTILITY” メニュー画面を表示します。
3. “RS-232C” 項目を選択（反転表示）します。
4. SS-CDR200 / SS-R200のMULTI JOGダイヤルを押して、“RS-232C” 設定画面を表示します。
5. “RS-232C” 設定画面の各項目の設定を行います。

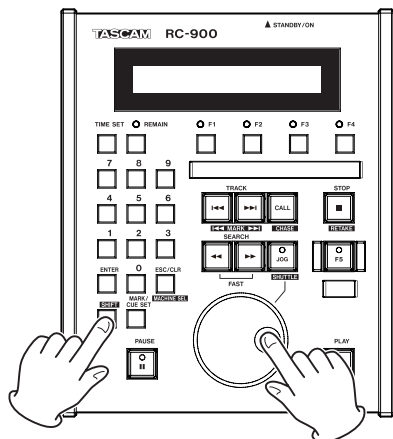
BAUD RATE	: “38400 bps”
PARITY BIT	: “NON”
STOP BIT	: “1”
DATA LENGTH	: “8”
6. 各項目の設定が終了したら、SS-CDR200 / SS-R200のHOME/DISPLAYボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

## ディスプレイとインジケータを調節する

必要に応じて、本機のディスプレイのコントラストと明るさ、インジケータの明るさを調節することができます。

### ディスプレイのコントラスト調節

本機のSHIFTボタンを押しながらJOGダイヤルを回すことにより、本機のディスプレイのコントラストを調節することができます。

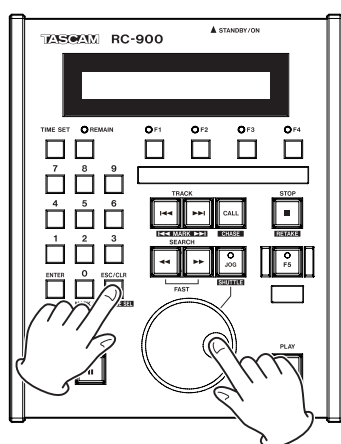


#### メモ

- 本機のディスプレイのコントラスト調節の設定は、本機の電源をオフにしても保持されます。
- 上記の操作でコントラスト調節できるのは、本機のディスプレイのみです。接続する本体機器のコントラスト調節はできません。

### ディスプレイの輝度調節

本機のESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押しながらJOGダイヤルを回すことにより、本機のディスプレイの輝度を調節することができます。

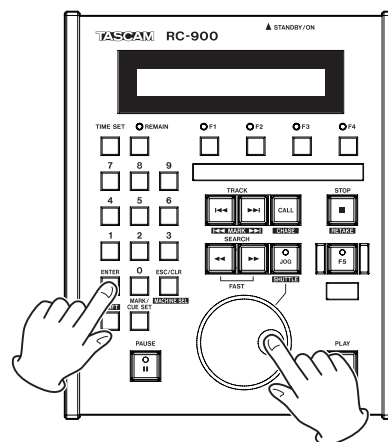


#### メモ

- 本機のディスプレイの輝度設定は、本機の電源をオフにしても保持されます。
- 上記の操作で輝度を調節できるのは、本機のディスプレイのみです。接続する本体機器の輝度調節はできません。

### インジケータの輝度調節

本機のENTERボタンを押しながらJOGダイヤルを回すことにより、本機の各インジケータの輝度を調節することができます。



#### メモ

- インジケータの輝度の設定は、電源をオフにしても保持されます。
- 上記の操作で輝度を調節できるのは、本機のインジケータのみです。接続した本体の輝度調節はできません。

## 第4章 操作する

### オンライン再生モードの切り換え

接続する本体機器がCD-9010CF / CD-9010またはHS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合で、接続機器の設定が“1 : CD-9010 [A]”または“4 : HS [B] (ONLINE)”のときに、オンライン機能の切り換えが可能になります。(→ 13ページ「接続機器を選択する」)

オンライン機能を切り換え可能(接続する本体機器により設定方法が異なります。接続する本体機器の取扱説明書を参照ください。)にしているとき、ファンクションボタン(F5 (ONLINE) ボタン)を押すことでオンライン再生モードのオン/オフの切り換えができます。

オンライン再生モードのオン/オフによって、音声出力方法が変わります。詳しくは、接続する本体機器の取扱説明書を参照ください。

#### ヒント

接続する本体機器がCD-9010CF / CD-9010の場合は、接続機器の設定を“6 : CD-9010 [B]”に設定するとオンライン再生モードが常時オンになり、F5ボタンでオンライン再生、PLAYボタンでモニター再生を操作することができます。

### 再生モードを設定する

接続する本体機器がHS-2 / HS-2000 / HS-4000またはSS-CDR200 / SS-R200の場合で、接続機器の設定が“3 : HS [A] (REC)”、“4 : HS [B] (ONLINE)”または“5 : SS-CDR200/R200”のときに、再生モードの設定が可能になります。(→ 13ページ「接続機器を選択する」)

接続する本体機器により再生モードの種類が異なります。

詳しくは、接続する本体機器の取扱説明書を参照ください。

ファンクションボタン(F2ボタン)により、再生モードを切り換えることができます。ファンクションボタン(F2ボタン)を押すたびに順に切り換わります。

シングル再生モード時にファンクションインジケータ(F2ボタン)が点灯し、それ以外の再生モード時には消灯します。

### 再生する場所を選ぶ

#### トラック(テイク)を選ぶ

TRACK ◀◀ / ▶▶ [MARK ◀◀ / ▶▶] ボタンを使ってトラック(テイク)を選択(スキップ)できます。

##### ◀◀ ボタン :

トラック(テイク)の経過時間が1秒以上のときに押すと、そのトラック(テイク)の頭に戻ります。経過時間が1秒未満のときに押すと、手前のトラック(テイク)の頭にスキップします。

##### ▶▶ ボタン :

次のトラック(テイク)の頭にスキップします。もう一度押すと、その次のトラック(テイク)の頭にスキップします。

#### メモ

プログラム再生モード時は、プログラム順に従って前後のトラック(テイク)にスキップします。

#### トラック(テイク)選択後の動作

TRACK ◀◀ / ▶▶ [MARK ◀◀ / ▶▶] ボタンを押してトラック(テイク)を選択した後の本機の動作は、接続する本体機器の設定により異なります。

接続する本体機器の取扱説明書を参照ください。

#### トラック(テイク)番号指定

停止中、再生待機中または再生中(オンライン再生時は除く)に、再生モードが連続再生モードおよびシングル再生モードのとき、数字ボタン(0~9ボタン)を使ってトラック(テイク)番号を指定することができます。

オーディオCDの場合は2桁、データCDまたはCFカード / SDカード / USBメモリーの場合は3桁の入力を行います(例:オーディオCDのトラック2の場合は0ボタン→2ボタン)。

A rectangular display box showing the text "0-T".

[オーディオCDモード表示]

A rectangular display box showing the text "0-T".

[データCD・CF / SD / USBモード表示]

#### メモ

- 入力したトラック(テイク)番号をESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押して、取り消すことができます。
- トラック(テイク)番号が全て消えた状態からESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押すと、トラック(テイク)番号指定状態から抜けます。
- HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合は、タイムラインモードのときにトラック(テイク)番号指定を行うことはできません。



## 曲の途中をサーチする

停止中、再生待機中または再生中（オンライン再生時は除く）に、**SEARCH ◀◀ / ▶▶** ボタン、**JOG**ダイヤルを使って曲の途中をサーチすることができます。また、指定したトラック（テイク）番号／経過時間にロケートすることもできます。

### SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタンを使う

停止中、再生待機中または再生中（オンライン再生時は除く）に **SEARCH ◀◀ / ▶▶** ボタンを押し続けると、キューサーチができます。

**SEARCH ▶▶** ボタン（**SEARCH ◀◀** ボタン）を押して、キューサーチ中に **SEARCH ◀◀** ボタン（**SEARCH ▶▶** ボタン）を押すと、サーチ速度が速くなります。

### JOGダイヤルを使う

停止中、再生待機中または再生中（オンライン再生時は除く）に **JOG [SHUTTLE]** ボタンを押してジョグモード（**JOG [SHUTTLE]** インジケータ点灯）にし、**JOG**ダイヤルを使ってサーチができます。

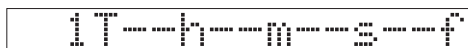
### タイムサーチ機能

タイムサーチ機能を使うと、再生待機中または再生中（オンライン再生時は除く）のトラック（テイク）内の（頭からの）時間を指定してロケートすることができます。

1. **TIME SET** ボタンを押して、本機のディスプレイ表示をタイムサーチモードにします。



[オーディオCDモード表示]



[データCD・CF / SD / USBモード表示]

2. 再生待機中または再生中（オンライン再生時は除く）に数字ボタン（**0~9**ボタン）を使って、オーディオCDの場合は、分、秒、フレーム、データCDまたはCFカード / SDカード / USBメモリーの場合は、時、分、秒、フレームをそれぞれ2桁で入力します（時 / 分 / 秒 / フレームは、トラック（テイク）の先頭からの経過時間です）。指定したポイントにロケートし、指定時と同じ動作状態（再生待機状態または再生状態）になります。

#### メモ

- プログラム再生モードおよびランダム再生モードでは、タイムサーチができません。
- 入力した時間を**ESC/CLR [MACHINE SEL]** ボタンを押して、取り消すことができます。
- 入力した時間が全て消えた状態から**ESC/CLR [MACHINE SEL]** ボタンを押すと、タイムサーチモードから抜けます。
- CD-6010の場合は、データCD再生中に曲の途中をサーチすることはできません。

## キューポイント再生

接続する本体機器がCD-9010CF / CD-9010またはCD-6010の場合で、接続機器の設定が“**1 : CD-9010 [A]**”、“**6 : CD-9010 [B]**”または“**2 : CD-6010**”のときにキューポイント機能を使うことができます。（→ 13ページ「接続機器を選択する」）

あらかじめキューポイントを設定しておくことで、ポイントロケート、キューポイントからの再生などが可能です。

本機で操作可能なキューポイントは、No.1 ~ No.4です。それぞれファンクションボタン（**F1~F4**ボタン）に対応します。

CD-6010の場合は、キューポイントNo.11 ~ No.14も操作できます。CD-6010の**+10**ボタンで切り換えることができます。

接続する本体機器には、これら以外複数のキューポイントを登録できますが、それらのキューポイントは、本機から操作できません。

#### メモ

CD-6010の場合、CD-6010本体の**CUE**ボタンを操作して、キューモードをオンに設定してください。

キューモードをオンの場合は、**CUE**ボタン上のインジケータが点灯します。この設定は、CD-6010本体の電源をオフにしても保持されます。

## キューポイントを追加する

### 本機のボタン操作の場合

停止中、再生待機中およびモニター再生中に**MARK/CUE SET** ボタンを押すと、キューポイントをファンクションボタン（**F1~F4**ボタン）に登録します。

このとき、“**CUE SET**” とそのとき登録したキューポイント番号をポップアップ表示します。



キューポイントに登録することにより、ファンクションボタン（**F1~F4**ボタン）上のインジケータが点灯します。

**MARK/CUE SET** ボタンを押しながらファンクションボタン（**F1~F4**ボタン）を押すと、その場所にキューポイントが登録されます。

#### メモ

4箇所のキューポイントに登録した状態で、**MARK/CUE SET** ボタンを押すと、“**CUE SET FULL**” をポップアップ表示します。



## キューポイントから再生する

インジケータの点灯しているファンクションボタン（**F1~F4**ボタン）を押すと、押したファンクションボタン（**F1~F4**ボタン）に登録されているキューポイントに移動し、再生待機状態になります。

## キューポイントを削除する

**ESC/CLR [MACHINE SEL]** ボタンを押しながらキューポイントの登録されたファンクションボタン（**F1~F4**ボタン）を押すと、登録されたキューポイントが削除されます。

### リピート再生

接続する本体機器がHS-2 / HS-2000 / HS-4000またはSS-CDR200 / SS-R200の場合で、接続機器の設定が“3 : HS [A] (REC)”、“4 : HS [B] (ONLINE)”または“5 : SS-CDR200/R200”のときに、リピート再生機能を使うことができます。(→ 13ページ「接続機器を選択する」)

カレントデバイス、カレントプレイエリア、カレントセッション（接続する本体機器の設定、モードにより異なります。詳しくは、接続する本体機器の取扱説明書を参照ください。）内の全トラック（全テイク）を繰り返し再生します。

ファンクションボタン（F1ボタン）により リピート再生モードのオン/オフ切り換えることができます。

リピート再生モードオン時にファンクションボタン（F1ボタン）ファンクションが点灯し、オフ時に消灯します。

### マーク機能

接続する本体機器がHS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合で、接続機器の設定が“3 : HS [A] (REC)”または“4 : HS [B] (ONLINE)”のときにマーク機能を使うことができます。(→ 13ページ「接続機器を選択する」)

#### マークポイントを付ける

本機のMARK/CUE SETボタンを押すと、そのときの再生/録音時刻にマークポイントを付けることができます。また、接続する本体機器の機能により自動的にマークポイントを付けることができます。

マークについては、接続する本体機器により制限、注意事項があります。詳しくは、接続する本体機器の取扱説明書を参照ください。

#### マークポイントへのロケート

本機のSHIFTボタンを押しながらTRACK ◀◀ / ▶▶ [MARK ◀◀ / ▶▶] ボタンを押すことにより、1つ手前または1つ先のマークポイントにロケートします。

### 録音する

接続する本体機器がHS-2 / HS-2000 / HS-4000またはSS-CDR200 / SS-R200の場合で、接続機器の設定が“3 : HS [A] (REC)”または“5 : SS-CDR200/R200”のときに、録音することができます。(→ 13ページ「接続機器を選択する」)

停止状態のときに、ファンクションボタン（F5ボタン）を押すと、録音待機状態になります。このときファンクションボタン（F5ボタン）と本機のPAUSEボタンが点灯します。

録音待機状態で本機のPLAYボタンを押すと、録音を開始します。録音については、接続する本体機器により設定、制限、注意事項があります。詳しくは、接続する本体機器の取扱説明書を参照ください。

### トラック（テイク）の編集

接続する本体機器がHS-2 / HS-2000 / HS-4000またはSS-CDR200 / SS-R200の場合で、接続機器の設定が“3 : HS [A] (REC)”、“4 : HS [B] (ONLINE)”または“5 : SS-CDR200/R200”のときに、トラック（テイク）を編集することができます。(→ 13ページ「接続機器を選択する」)

#### メモ

HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合、タイムラインモードのときにトラック（テイク）の編集を行うことはできません。

#### トラック（テイク）を分割する

トラック（テイク）を任意の位置で、2つのトラック（テイク）に分割することができます。

分割については、接続する本体機器により制限、および注意事項があります。

詳しくは、接続する本体機器の取扱説明書を参照ください。

#### SS-CDR200 / SS-R200の場合

1. 本機のPLAYボタン、SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタン、タイムサーチ機能、ジョグ機能などを使って、トラック上の分割したい位置付近にロケートします。
2. 分割ポイントを決めたら、本機のPAUSEボタンを押して再生待機にします。
3. ファンクションボタン（F3ボタン）を押します。  
下記のような確認のポップアップメッセージが表示されます。  
**“Divide? ENT/ESC”**  
分割をキャンセルしたい場合は、ESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押してください。
4. 本機のENTERボタンを押すと、分割（DIVIDE）を行います。
5. 接続する本体機器の表示にて分割（DIVIDE）結果を確認ください。

#### HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合

1. 本機のPLAYボタン、SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタン、タイムサーチ機能などを使って、テイク上の分割したい位置付近にロケートします。
2. 必要に応じて 本機のSTOPボタンまたはPAUSEボタンを押して停止または再生待機状態にします。
3. ファンクションボタン（F3ボタン）を押します。  
本機には、下記のようなポップアップメッセージが表示されます。  
**“Divide? ENT/ESC”**

接続する本体機器は、“-- Divide Mode --”表示に切り換わり、スクラブ再生状態になります。

下記操作子で正確な分割の位置を探します。

- JOGダイヤル
- SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタンを押す (1サンプル単位の移動)
- SHIFTボタンを押しながらSEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタンを押す (1ms単位の移動)
- SHIFTボタンを押しながら TRACK ◀◀ / ▶▶ [MARK ◀◀ / ▶▶] ボタンを押す (マークポイント移動)

分割処理を中止する場合は、ESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンまたはSTOPボタンを押します。

4. 分割する位置が決まったら、ENTERボタンを押してください。分割 (DIVIDE) が実行されます。
5. 分割が終了すると本機にポップアップメッセージ “Successful” が表示されます。

#### メモ

- 接続する本体機器の画面にポップアップウィンドウのメッセージが表示されている状態で本機の分割操作を行った場合は、“-- Divide Mode --”表示に切り換わる際に、ポップアップウィンドウのメッセージが消去されます。
- 接続する本体機器の操作により分割処理に入った場合は、本機から分割操作を行うことはできません。

### トラック (テイク) を削除する

表示中のトラック (テイク) をメディアから削除することができます。削除については、接続する本体機器により制限、注意事項があります。詳しくは、接続する本体機器の取扱説明書を参照ください。

1. STOP [RETAKE] ボタンを押して、停止状態にします。
2. トラック (テイク) 選択機能を使って、削除したトラック (テイク) を選択します。
3. ファンクションボタン (F4ボタン) を押します。下記のような確認のポップアップメッセージが表示されます。

“Delete? ENT/ESC”

削除をキャンセルしたい場合は、ESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押してください。

4. ENTERボタンを押すと、削除 (DELETE) を行います。
5. HS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合は、分割が終了するとポップアップメッセージ “Successful” が表示されます。SS-CDR200 / SS-R200の場合は、本機のディスプレイには特に表示されません。接続する本体機器の表示にて確認ください。

### トラックの終わりの部分を確認する

接続する本体機器がCD-9010CF / CD-9010の場合は、“PLAY”メニュー画面の“END CHECK”項目を“5”～“35” (秒、5秒単位) に設定しておく、トラックの終わりの部分を確認することができます。

トラックの終わり方を確認したいときに便利です。詳しくは、CD-9010CF / CD-9010の取扱説明書を参照ください。

#### 実際の使用方法

SHIFTボタンを押しながらTRACK ▶▶ ボタンを押すと、現在選択しているトラックの終了時間から、“PLAY”メニュー画面の“END CHECK”項目で設定した時間分さかのぼった位置にロケートし、モニター再生が始まります。

再生終了後は、ラストキューポイント (最後に再生を開始した位置) に戻り再生待機状態になります。

## 第5章 その他の設定など

### 本機の情報を見る

1. 本機のSTOP [RETAKE] ボタンとPLAYボタンとPAUSEボタンを押したまま、リアパネルのSTANDBY/ONスイッチをONにし、電源を入れます。
2. オープニング画面表示後、システムバージョン情報が表示されます。
3. 確認したら、電源を入れ直して再起動してください。

### 稼動時間を確認する

1. 本機のSTOP [RETAKE] ボタンとPLAYボタンとCALL [CHASE] ボタンを押したまま、リアパネルのSTANDBY/ONスイッチをONにし、電源を入れます。
2. オープニング画面表示後、稼動時間が表示されます。
3. 確認したら、電源を入れ直して再起動してください。

### 出荷時の設定に戻す

バックアップメモリーに保存されている各設定情報を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機のENTERボタンとESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押したまま、リアパネルのSTANDBY/ONスイッチをONにし、電源を入れます。
2. オープニング画面表示後、以下のように表示されます。  
“FctPrst? PushENT”
3. 本機のENTERボタンを押すと各設定情報が工場出荷時の設定に戻り、“FctPrst Complete” が表示されます。
4. 電源を入れ直して再起動してください。

### フェールセーフ機能の設定

フェールセーフ機能は、誤って操作ボタンに触れたときに動作をしないための安全機能です。

再生待機中、オンライン再生中の状態に関して、無効となるボタンを設定します。設定の詳細は、一覧表を参照してください。接続する本体機器がCD-9010CF / CD-9010の場合は、“SYSTEM”メニュー画面の“FAIL SAFE”項目でフェールセーフ機能を設定することができます。その他の機器では、設定できません。詳しくは、CD-9010CF / CD-9010の取扱説明書を参照ください。

#### フェールセーフ機能の設定による無効なボタン一覧

フェールセーフ機能の設定項目	再生待機中に無効なボタン	オンライン再生中に無効なボタン
LOW LIM	なし	TIME SETボタン
		MARK/CUE SETボタン
		F1 ~ F4ボタン
		CALLボタン
		数字ボタン (0~9ボタン)
		ESC/CLRボタン
		TRACK  ◀ / ▶  ボタン
		SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタン
		SHIFT + ▶▶ ボタン (END CHK)
		JOGボタン
		PLAYボタン (モニター再生) *
UP LIM	TIME SETボタン	TIME SETボタン
	MARK/CUE SETボタン	MARK/CUE SETボタン
	CALLボタン	CALLボタン
	F1 ~ F4ボタン	F1 ~ F4ボタン
	数字ボタン (0~9ボタン)	数字ボタン (0~9ボタン)
	ESC/CLRボタン	ESC/CLRボタン
	TRACK  ◀ / ▶  ボタン	TRACK  ◀ / ▶  ボタン
	SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタン	SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタン
	SHIFT + ▶▶ ボタン (END CHK)	SHIFT + ▶▶ ボタン (END CHK)
	PAUSEボタン	PAUSEボタン
	---	JOGボタン
---	PLAYボタン (モニター再生) *	
OFF	なし	なし

\* 接続機器の設定が “6 : CD-9010 [B]” の場合のみ。

## 一般

### 電源

専用ACアダプター (TASCAM PS-P520、付属)

AC入力: 100-240V、1.0A

DC出力: +5V、2.0A

### 消費電力

1W以下

### 外形寸法

176 x 59 x 215 mm (幅 x 高さ x 奥行き、突起を含む)

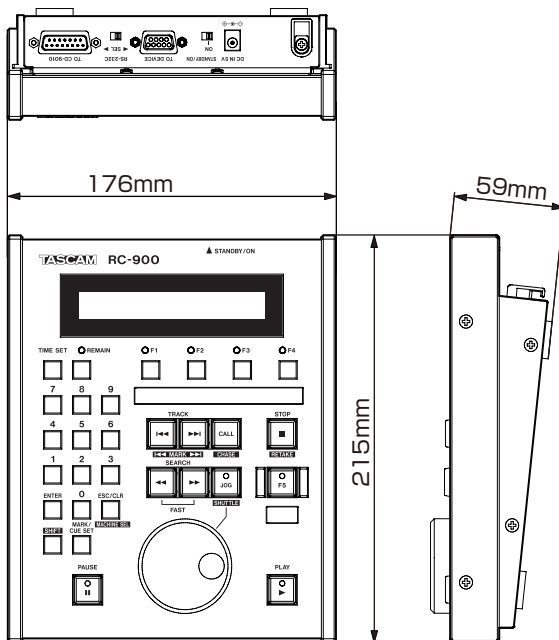
### 質量

1.4kg

### 動作温度

5 ~ 35°C

## 寸法図



- \* 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- \* 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。





## この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 / 13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



® 0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

## 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

市内通話料でOK  
ナビダイヤル®

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。

このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

<http://tascam.jp/>